



とうとう12月に突入です。令和7年もあと1ヶ月となりました。12月と「師走」と言います。年末は何かとバタバタ走り回っているイメージと重なり文字的にもしっくりきますが、「師走」の由来を調べてみると、どうやら諸説あり!とのことでした。その中のひとつを紹介すると「師匠の僧がお経をあげるために東西を馳せる月」と解釈する「師馳」が語源に由来しているようです。学校では私たち教師も水戸黄門の12月を迎えます!!

今週は2年生が始まった「新研究(受験用教材)」の取組と、3年生の「三者面談」を終えて、今後について記事にしたいと思います。1年生は、来年・再来年を見据えて、2年生は来年を見据えて、そして3年生はこれからを見据えて今後の生活に生かしていってほしいと思います。

三者教育相談と終えて

3年生保護者のみならず、平日の夕刻中での教育相談、大変お世話になりました。ひとりで様々な思いや悩み、不安や戸惑いがあることを知りつつ、そんな中厳しい現状を伝える場面もありました。そんな子どもたちの前に大きく立ちまわることができる壁を、全力で越えていけるように、北中職員全員で精一杯支えています。



「進路希望確実書」の提出も残り1日と聞いています。これからあと、様々な受験関連の書類提出や点検といった作業がくり返されます。年明けからこの作業が毎日のように続きます。

「ミスは許されない」、といった緊張感のある日々を過ごし、冬休みに入っていくことになります。

今回の教育相談では、随分家庭の中で保護者と子どもが向き合う時間が増えたことにより、子どもたちは、自分のくらしや親の願いを知り、保護者は我が子の夢に向きあおうとする思いや不安などを感じとれたことと思います。

来週の火曜日は親子進路学習会を予定しております。今後のことについての重要な説明になるかと思っています。

受験用教材「新研究」～継続は力なり～

- 3年生の三者教育相談と近づくにつれてスタートした2年生の受験対策「新研究」の取組について紹介します。
- この「新研究」という教材は、受験対策用としてかなり練りあげられて作られたテキストで、信頼性も高く、このテキスト一冊で十分受験と戦えるでしょう。ただし、取り組まなければ何の意味もありません。
 - 高額なお買い物です。このテキスト以外に参考書と何冊も必要はないと思われず。
 - 家庭学習が基本です。しかし、ぜひ、教員に申し込んで、計画表を作成し、毎日ノートで提出します。
 - 授業で使用するケースもあります。その場合は学校に持ち帰ります。
 - 教科により、定期テストに出題することもあります。
 - 3年生の夏休みに入る前までに1、2年生の学習内容を終わらせ、夏休み中に2度目の1、2年生内容+3年生の7月までの内容に取り組み、夏休み明けから3週目のテキスト学習、これを繰り返しながら、相当の力をつけていきます。

～くり返しに繰り返す家庭学習が基本です。過去の子供たち(中3)のことも振り返って、多くの子どもたちに1、2年生の時のことを後悔します。北中の子どもたちには、「大きな夢を描いてほしい」と思っています。そして夢の実現のために「本気になってほしい」と思っています。

成長中...



何かに書いてありました...

『褒める』とは、

子どもを評価することではありません。子どもの頑張りと、成長を見つけて、その喜びを伝えていくことです。

『叱る』とは、

子どもに腹を立てることではありません。子どもが自分も他人も大切にできるように、ひとつずつ教えていくことです。